

J R 四国労組ニュース

令和4年4月1日（N o 2 3） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／石川 敏也

経営自立にむけた2年目がスタート

安心して働き続けられる環境を創出すべく 全組合員一丸となり収入確保に取り組もう！

J R 四国労組は昨年7月の大会で決定したスローガン「団結 創造 実践 J R 四国労組の強固な団結力と創造力で社会変化に対応した労働運動を実践し、この難局を乗り越え明るい未来を切り拓こう！」のもと、運動方針の3本柱である『安全・安定・安心輸送の確立』『組織の強化・拡大』『労働条件の改善』を中心に、コロナ禍の中でも積極果敢に活動を展開してきました。

2022年度は、2031年度の経営自立を目指す「J R 四国グループ長期経営ビジョン」「中期経営計画2025」の2年目となります。2年超に亘るコロナ禍による会社の危機的状況乗り越え明るい将来展望を描くためには、引き続き労使一丸となって取り組みを進めていかなければなりません。特に、同ビジョンにも掲げられた「ありたい姿」にある『従業員が誇りを持ち、生き生きと働ける企業グループ』に相応しい労働条件・労働環境の実現がなければ、成しえないものと認識します。

J R 四国労組は、J R 四国及びジェイアール四国バスの責任組合として雇用と生活を守ることを念頭に、将来にわたり希望と誇りを胸に、安心して働き続けることのできる環境整備に邁進していく決意です。そして、その実現のためにも、J R 四国グループ2022年度事業計画の営業収益415億円、鉄道運輸収入169億円を確保すべく、グループ体となった営業施策の推進に貢献するとともに、「四国再発見増収キャンペーン」「利用促進キャンペーン」の積極的な参加に向け、全組合員が一丸となって取り組むことを要請します。

2022年4月1日
四国旅客鉄道労働組合